

1. 初めに

皆さんはエレファスゾウカブトをご存じだろうか。
ゾウカブトといえば、ヘラクレスオオカブトやコーカサスオオカブトなどと同じくらい有名なカブトムシだろう。そんなゾウカブトは近年、新種の記載が続いていて注目されている。今回は 2018 年 9 月下旬(孵化後 2 ヶ月)から 2020 年 2 月上旬(羽化)までの飼育記録を記載する。

2. 生物について

・エレファスゾウカブト *Megasoma Elephas*

メキシコからコロンビアの主に中米に分布する、大型の *Megasoma* 属である。体の背面に橙色の毛を有し、オスの頭角は長く基部に突起があり、毛が生えている。前胸背板の中央には胸角はなくコブ状に盛り上がり、前縁部には 1 対の突起を持つ。飼育産卵方法は確立されており、簡単に飼育出来る。雌雄は、メスの場合背中側に卵巣が見え、オスの場合は腹側に二つの点が見えることから判別できる。

3. 飼育方法

25 度の部屋で 3 齢幼虫になるまでは 1L ケース、3 齢幼虫からは 5L ケースで 2 ヶ月に 1 回マットの 5 分の 4 を変えた。人工蛹室は使用しなかった。3 齢幼虫になってからは体重を量った。

4. 飼育記

(1) 2018 年 9 月

滋賀県の昆虫ショップで 31g の 2 齢幼虫を購入。1L ケースに幼虫を入れる。

(2) 10 月

5L ケースに幼虫を移す。体重は 40g で 3 齢幼虫になる。

(3) 2019 年 1 月

マットを入れ替える。体重は 55g でオスと判明。

(4) 3 月

マットを入れ替える。体重は 67g

(5) 5 月

マットを入れ替える。体重は 80g

(6) 7 月

マットを入れ替える。体重は 96g、この個体が生まれて約 1 年たち、かなり黄色くなってきた。これは「成長期」が終わり体重の増加が緩や

かになっていく証拠である。

(7) 9月

マットを入れ替える。体重は幼虫を刺激してしまうので量らなかった。

(8) 11月

7月に成長が穏やかになったばかりなのにすでに蛹化していた。通常なら6~8ヶ月かかる。

(9) 11月~2020年1月

蛹が徐々に色づいていく。また基部に突起ではなくコブ状の物が有るといったが11月の蛹には突起が有り、徐々にコブになっていった。このことからコブの起原が突起であることがわかる。

(10) 2月

羽化した。そして1ヶ月後に後食を始めた。後食とは羽化してからエサを食べ始めることである。

5. この実験から得たもの

羽化したときは感動した。また、突起の形状がコブの起原だとわかった。

6. 参考文献

BE・KUWA70号 むし社

